

福島のごみ減量を考える会



since2024

福島のごみ減量に向けて共に考え、意見収集や情報発信し、仲間の輪を広げて、環境にやさしい生活の実現を目指して行動します。

今年度の活動の柱は3つ

キエーロやコンポスト等の普及と、食品ロス削減クッキングで家庭から出る生ごみを削減します。

マイボトル・マイ容器の活用を広め、ペットボトルや使い捨てプラスチックごみの削減を目指します。

クリーンセンターやリサイクル会社等を見学して、福島のごみの現状を知る活動を行います。

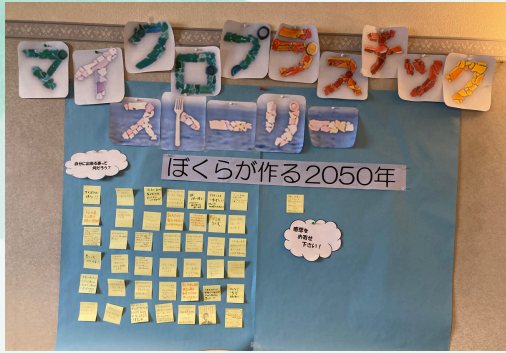
福島のごみの現状を考えると...

<福島市の場合>

- 1人1日当たり**1,080g**（令和4年度）
全国でワースト13位
- ごみ処理費用として
年間1人当たり**約16,000円**（令和4年度）
もかかっている
- 令和4年竣工の一般廃棄物最終処分場
（大舘山）の埋立て可能年数は**約15年！**
- 大量のごみ焼却によって**CO₂ 排出量が多く**
（温暖化） 焼却炉の劣化も進む
- 大量のプラスチックごみのリサイクルも熱
処理により**CO₂ を排出（温暖化）**
リサイクルより**利用を減らすことが大切**

ごみ減量は、持続可能な未来
への身近なアクションです

《これまでの私たちの活動》



R4年プラスチックの海、R5年マイクロプラスチックストーリーの映画をフォーラム福島で上映



R5年荒川クリーンセンター、大館山一般廃棄物最終処分場の見学



R6年渡利学習センターで、食品ロス削減クッキングを開催



R6年ガーデンマルシェでデポジット制のリユース食器利用を初めて試みた



R6年福島市本町“お百しょう屋”さんで、キエー口実演しSNSで発信



R6年6月imocaさんで、キエー口の注文受付開始



福島駅東口のGooddaymarketで生ごみ堆肥化のワークショップを定期開催

《今後の活動》

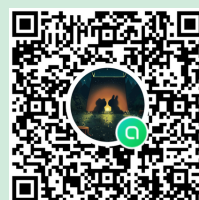
- 水道局とRefillJapanとの連携
(給水スポットの増設・マイボトル活用率UP)
- 浄水場等、関連施設の見学
- イベントのごみ削減（リユース食器の利用等）を考える
- キエー口・生ごみ堆肥化の普及と食品ロス削減クッキングの開催 など

当会は、LINEオープンチャットやInstagramで情報を発信しています。

■ LINEオープンチャット

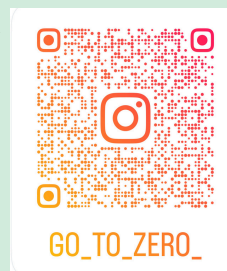
QRコード

イベント情報や、日常の気づきなどを自由に発信しております。
どなたでもお気軽にご参加ください。



■ Instagram (@go_to_zero_) QRコード

キエーロの実演や食品ロス削減クッキングの様子や、見学した荒川クリーンセンター等を紹介しています。



■ 毎月、第3土曜日に県立美術館前の如春荘（福島市森合台13-9）にて定例会を開催しております。 興味をお持ちの方は事務局へ事前にメール連絡の上、お気軽にお越しください。

◆ 連絡先 福島のごみ減量を考える会 ◆

✉ zero.waste.fukushima@gmail.com

《会員を募集中》

- ・個人の正会員（年会費1,000円）
- ・個人の賛助会員（年会費 500円）
- ・団体の正会員（年会費1口10,000円）※
- ・団体の賛助会員（年会費1口 5,000円）※

※口数に制限なし

■ 協力団体 (Instagram)

GoodDayMarket/お百しょう屋

(@gooddaymarket/@o100shoya)

リフィルふくしま (@refillfukushima)

古民家カフェ imoca (@imoca_cafe)